

ふるさと天草に 感謝する気持ちを、 絵本にして伝えたい。

チャレンジの

あゆみ

東京の出版社でデザインを学ぶ。帰郷してイナギ印刷に入社。仕事を通して今まで知らなかった天草の歴史に触れる。

退社後、屋号「マル企画」で●▲■丸・三角・四角にロゴデザイン。地球が平和に丸く納まるようにと壮大な願いを込め、フリーで仕事を始める。

5年前、デザインドライブの吉永さんから絵本を作ることをすすめられたことがきっかけで、仕事の傍ら、自分なりに故郷の良さを書いた絵本を作り出す。

天草の本の中に語り継がれた民話がある。それを絵本にしたくて「あまき民藝舎」と称し、活動を始める。民話には不思議な力があると信じて続けていきたい。

連絡先

マル企画

天草市五和町御領 5588

TEL : 0969-32-2137



できるだけ土に還るものづくりを心がけ、庭の柿の木の小枝で作った看板です。

◎▲■ (まるきかく)

ながた ゆみ

代表 永田 有実 さん

印刷物のデザインを始めて 28 年…

内容は様々ですが、どんな仕事もまずは、依頼していただいた方や、目の前の人を笑顔にしたい気持ちから企画デザインしています。イメージをつかむために直接訪ねて行ったり、話を聞きながらできるだけ楽しいイメージを心がけています。

仕事で触れた天草の歴史から

色あせた古い本を手天草の歴史を調べていたとき、山深い藪の中で撮られた古墳の写真を目にしました。たった 1 枚のその写真からも、歴史を大切に守り伝えてこられた先人の努力が感じられ、ますます天草が魅力的に思えるようになりました。そして、同じ紙の印刷物でありながら大切にされているその本を手にし、自分が携わってきたそれまでの仕事や、大量に破棄される印刷物や環境問題を思い起こし、できるだけ手元に残してもらえようような仕事がしたいと思うようになりました。

友だちや子どもに天草の良さを伝えたくて絵本を作る

仕事で何度か天草に関する冊子を作っているうちに、「もし自分の友だちに天草を案内するのなら」と考えてみました。そこで、普通の冊子とは少し違い、自分の好きな場所や隠れた歴史などを伝えたいと思い、以前書いていた物語に自分で描いた絵をつけ、絵本を作りました。その絵本が、自分の故郷への感謝であると思い、子どもたちやいろんな人たちへ伝えていきたいとなりました。

絵本を通して知る大切な人とのつながり

「故郷に感謝する気持ちを伝えたい」とは言え、自分で本を作り伝えるという、身近にあまり前例のないことを始めるのにはやはり不安がありました。「本」で、出版社でしか作れないのか？いや、自分が作ってきた卒業文集もある種「本」であり、なかなか捨てられないポジションにある。そんな身近な違う角度から「本」を見つめ直し、天草で婆ちゃんが畑で作る野菜のように、天草の日常の話や、民話から本を作りたいと考えました。そして予算が無い中、考え出したのが受注生産です。受注で作ることは、破棄されることも極力防げる。印刷も協力いただき、製本を一頁一頁、手ですることによって経費も押さえられ、その作業は野菜作りの手間ひまに似ている。それを私家版で発行すると決めて、見本を完成させ、受注生産しています。注文してくださる方の心で、故郷を大切に思う気持ちを繋げてもらえたいと思います。その後、絵本の編集・制作依頼も入るようになりました。お納めした本は、どれも天草の歴史や風土を伝える大切な本です。これからも絵本を通じて巡り会う人と言葉を信じ、故郷を大切に思う気持ちを伝えていきたいと思っています。

～ Profile ～

五和町出身。五和町在住。二江の海に沈む夕日や、白い灯台と青い海が好きで、小学生の頃から一人自転車を漕いで見に行っていた。絵を描くのが好きで、授業中勉強しないでノートに絵ばかり描いていた。小中高通して、卒業後も学校新聞や文集作りを率先してやり、それが好きで仕事に。現在、自営、マル企画フリーデザイナー。



こんなお土産が欲しいと思って作った小さい絵本。心にあたかい火を灯す一瞬をイメージ「マッチ本」と呼んでいます。小さな子どもさんが自分の財布のお金で買ってくれたとき、本当にがんばろうと思います。



「言葉が好き。 伝えることが好き。」

チャレンジの あゆみ

五足の靴の短歌大会で俵万智さんの講演を聞き、短歌と出会い、自分を表現する場所を見つける。歌誌「岬（現・みさき）」の同人となり、浜名志松氏に師事する。

平成 10 年より町の教育委員を務める。天草西高校で社会人講師として高校生に短歌を教える機会に恵まれ、短歌の楽しさを伝える。

9 年前より、天草町の読み聞かせの会「ひよっこ会」に入り、小学校が統合した今も、子どもたちに読み聞かせで本の素晴らしさを伝えている。

連絡先

仁田 直美
天草市天草町福連木
3369-7
TEL : 0969 - 45 - 0007



短歌の「5・7・5・7・7」の 31 文字に
想いをのせて♪

読み聞かせ「ひよっこ会」
に た な お み
代表 仁田 直美 さん

短歌との出会い



自費出版した短歌集
「たんぽぽは宇宙のリズムで」



名古屋から天草に来て、最初は慣れない天草の言葉をわざと使って福連木にとけ込もうとしたりしていました。そんな時に、五足の靴の短歌大会に来られた俵万智さんのお話を聞き、短歌を始めました。これが私と短歌との出会いです。私にとって短歌は、自分を表現できる場所です。縁あって平成 11 年から社会人講師として天草西高校の生徒に数回授業をしましたが、もうすぐ閉校になるので、その前にもう一度、授業をするのが夢です。

子どもたちに何かを伝えられたら…

読み聞かせの会の方から、福連木地区のメンバーを探していると聞き、面白そうだなと思い軽い気持ちで仲間になりました。平成 24 年度までは 10 人位で、小学校 5 校にそれぞれ月に 1～2 度読み聞かせに行っていました。小学校の統合後は、6 人で各学年ごとに月 1 回のペースです。私は、絵本に限らず「伝えたい」と感じたら新聞の切り抜きも活用します。また、時には気分転換も兼ねて紙芝居もします。いずれにしても、まず、自分の心が「ん、なんかいいな。」感じられることが長く続けられるコツなのかも知れません。今後、読み聞かせの仲間がもっと増え、子どもたちに何かを伝えていけたらと思います。

母の童話を絵本にして



お母様の書かれた童話「パーテルさんとひがん花」が掲載されている冊子



お母様のために直美さんが手作りした「パーテルさんとひがん花」



お母様の「田中和子」さんが 20 年前に書かれた童話をもとに、作成した絵本「パーテルさんとひがん花」
著者 田中和子
編集 仁田直美
絵 永田有美

～ Profile ～

名古屋出身。天草町在住。30 歳の時に夫の故郷である天草へ移り住む。俵万智さんの講演で短歌に出会い自分を表現する場所を見つける。平成 10 年より町の教育委員を 6 年間務める。また天草西高校で社会人講師として高校生に短歌の楽しさを伝える。9 年前より読み聞かせの会に入り、現在は「ひよっこ会」の代表を務める。



福連木小学校のみんなと



昨年亡くなった
大好きな母と

地元の食材を生かした 「天草食の伝承者」をめざして

チャレンジの あゆみ

夫の定年と同時に帰郷し実父のみかん園を夫婦で継ぐ。

平成 13 年 8 月みかん農家の女性部 7 名で「味柑ちゃんグループ」を設立。

平成 17 年、晩柑加工コンクールで「晩柑ピールの梅しそ巻」が、優秀賞で食の名人に任命される。

地産地消に心がけ、地域の活性化や販路拡大、商品開発に取り組むたい。若い方にも味を伝承していきたい。

連絡先

味柑ちゃんグループ
天草市本渡町本渡 1151
TEL : 0969-23-3386



天草地域活性化グループ連絡協議会会長

みかん
味柑ちゃんグループ

代表 ^{のなか} 野中 ^{ちえこ} 千恵子 さん

同じ志の仲間と共に始めました

結婚して以来、30 年余り県外へ出ていましたが、夫の定年退職と同時に実家のある天草へ帰ってきました。父のみかん農家を引き継いだこともあり、みかんの消費拡大と規格外品の利活用を目的に、みかん農家女性部で「味柑ちゃんグループ」を平成 13 年 8 月に 7 名で設立しました。メンバーがそれぞれの得意分野で活躍し、今では 40 種類ほどの商品を取り扱っています平成 17 年晩柑の加工品コンクールで「晩柑ピールの梅しそ巻」が、優秀賞を頂き、ふるさと食の名人に任命されました。

楽しみながら・・・



前日の午後に材料の切り込みを行っておき、朝 5 時半から 5～6 品を調理し、市内の 2 店舗へ出荷しています。無理をしないようスタッフのシフトを午前・午後と分けて作業を行っておりますが、今では賃金を支払えるようになりました。

また、天草の食の伝承になればと、「がねあげ」、「押し包丁」、「ゆず胡椒」、「かるかん饅頭」などの料理体験教室も行っています。将来は、都会の方にも天草の味を届けることができればと思います。

地産地消を目指し、地域活性になればと・・・



ぼたんぼうふ入り
かきあげ

できるだけ地元の野菜や果物を仕入れ、それを加工しながら、お客様に喜んで頂ける商品開発に取り組んでいます。私たち自身が健康に気を配りながら、経済的にも自立した活動ができるよう、地域の方との交流を深めながら成長していきたいです。

新たなチャレンジとして、旬の食材とオリーブオイルを使ったパエリアなど、若い方にも喜んでもらえる商品づくりに取り組んでいます。これからも、地産地消の天草の味づくりを楽しく頑張っていきたいと思っています。



～ Profile ～

本渡町出身。本渡町在住。地元高校卒業後兵庫県の食品会社へ就職。

転勤族の夫の定年と同時に帰郷し実父のみかん園を夫婦で継ぐ。

平成 13 年みかん農家の女性部の皆さんで「味柑ちゃんグループ」を立ち上げる。

平成 17 年晩柑の加工品コンクールで優秀賞「ふるさと食の名人」になる。



ふるさと食の名人作品